



横濱
ビール
麦酒
物語

Tomokiyo Satoshi

友清 哲

有隣堂

はじめに

ビールは会話を伴う酒だとよく言われる。ライターとして酒にまつわるルポルタージュを多数手掛けるうちに、これはけだし名言だと実感させられている。

ワインや日本酒であれば、香りを窺い、風味の奥底を探るようにじっくりと向き合うのがオツだろう。あるいはウイスキーであれば、しつとりと熟成の時間を噛みしめるように味わいたいところだ。

しかし、ビールだけは気の置けない仲間とワイワイやるのが楽しいし、一人であってもついつい「ぶはあ」、「うまい」と言葉が漏れ出てしまう。陽の酒である。

何か嫌なことがあって自棄酒をおおるなら、度数の強いハードリカーが定番で、もしも「酒だ、酒をくれ！」と言って出てきたのがキンキンに冷えた生ビールなら、一口啜れば思わず笑顔がこぼれること請け合いだ。まして、そんなご褒美を二杯、三杯と重ねれば、ストレスも陰鬱な気持ちもすべて吹き飛んでしまふに違いない。

【写真提供】

キリンホールディングス株式会社
P148、P149、P152、P155、P177
株式会社横浜ビール
P165、P169、P170、P174

since 1869

横濱麦酒物語

— 目次 —

Stories for beer lovers

ところが、かようにビースフルで国民に愛されてきたビールについて、我々は意外と知らな
いことが多い。

たとえば、ビールがいつどの国で誕生したものか、ご存知だろうか。そのビールを日本で
初めて口にしたのが誰なのか、ご存知だろうか。そもそも、なぜ日本中でこれほどビールが飲
まれるようになったのか、その経緯をご存知だろうか。

酒で蘊蓄を語るのは無粋であると理解しているが、一方で、背景を知れば何倍も旨くなるの
が酒である。

そこで、横浜こそが日本のビール産業発祥の地であることに着目し、「横浜×ビール」をお
題目にガイドを試みたのが本書である。

知識や教養を押し付けようとの意図は微塵もない。ただ、ビールというものの出自と現在地
を知ること、今宵の一杯をいっそう美味なるものと感じてほしい。その一心から筆を執った
次第である。

横浜とビールが織りなすひとつの壮大な物語に、しばしお付き合いいただければ幸いだ。

友清哲

ビール産業発祥の地・横浜

はじめに

3

- ★ 古代メソポタミアで生まれたビールの長い旅路……………12
- ★ 初めてビールを飲んだ日本人は誰？……………16
- ★ 横浜で産声をあげた日本のビール産業……………25
- ★ 一大市場を築いた「ラガー」というスタイル……………29

- ★ 室町時代以前から脈々と続く横浜の歴史……………33
- ★ 横浜活性化の基盤となった「吉田新田」の開発……………37
- ★ 意外と知られていない「鎖国」と「黒船来航」のリアル……………40
- ★ 日本は黒船来航を事前に把握していた……………45
- ★ 本当は恐ろしいペリー提督……………50
- ★ 鎖国の終焉——国際化の舞台となった横浜……………58
- ★ 条文に仕込まれた歴史的な「誤訳」とは……………62
- ★ “日本初”がいつばいの横浜……………67
- ★ 明治新政府が推し進めたビール産業政策……………72
- ★ キリンビールに噂される坂本龍馬との関係……………76

クラフトビールの夜明け

- ★ビールはいかにして日本の食卓に浸透したのか……………82
- ★サントリー参入で出揃った「大手四社」……………86
- ★ターニングポイントを迎えた平成六年……………90
- ★神奈川県から始まったクラフトビールの歴史……………94
- ★地ビールの勃興と凋落……………98
- ★「地ビール」から「クラフトビール」へ……………102
- ★なぜ酒を勝手につくってはいけないのか？……………107
- ★規制緩和に期待される地域経済の活性化……………111

そしてビールは横浜に帰結する

- ★それでも酒税が「おいしい」理由……………115
 - ★いまだグレーな日本のホームブルーイング……………120
 - ★醸造キット販売事業者は語る……………124
 - ★醸造プロセス掲載の可否を国に問い合わせた結果……………126
- そしてビールは横浜に帰結する……………
- ★飲食業界を襲った「失われた二年間」……………132
 - ★その時、横浜のマイクロブルワリーは……………137
 - ★ビールに持ち込まれた「量り売り」の文化……………140
 - ★ドラフト市場を大きく広げた「タップ・マルシェ」……………145

第 1 章

ビール産業発祥の地・横浜

- ★ビール市場にサブスク制を持ち込んだ「麒麟ホームタップ」……………151
- ★事業拡大を図るロトブルワリー……………156
- ★「地ビール」への回帰が生むビジネスチャンス……………160
- ★みなとみらいを盛り上げる「横浜ビアバイク」……………164
- ★みんなで走ってみんなで飲む！ 横浜ビアランニング……………167
- ★「横浜は日本で最も大きなローカル都市」……………171
- ★課税の一本化でビール市場はどうなる？……………176
- ★現代の横浜に帰ってきたベリー……………179
- あとがき……………186